

さん個別の指導計画

平成 年度

まず、児童生徒に係る教師間で児童生徒の様子や支援について話し合しましょう。

(以下例を示してあります)

担任より

行動面:

集中できる時間が短く、好きな活動以外は教師の話聞いていない。我慢できなくなると、立って歩いたり、大きな声をあげたりする。自分の要求ははっきりと言う。それが「わがまま」との区別がつかない。甘えていたり、依存したりしやすい。気持ちがあまく表現できないので、すぐ手が出て、他の子とのトラブルも絶えない。

学習面:

文字を書かせると乱雑で、枠の中に書けないことが多い。机の中は片づけられない、プリントも消しゴムで消すと破れてぐちゃぐちゃになっている。文章は読むのは好きだが、読み間違いやとばし読みも多い。計算はできるが、繰り上がりの計算など覚えておくことが苦手で、ミスがある。理科は自分に興味のある実験やグループ学習は集中して取り組む。ひらめきもあるが、細かな観察や図で表現することは自分からはしない。社会は、地図が自分の住んでいる地域の地図であるというイメージがわからない。地図記号を覚えられない。

専科の教員より

図工は発想が豊かだが、色塗りは枠からはみ出している。丁寧に塗り始めても、集中が続かない。音楽はリコーダーが特に苦手で、うまくできないと、怒り出す。書写は大きないい字が書けるが、字のバランスが悪い。墨のつけすぎで、半紙に穴があく。自分の名前を書くところがない。

他のクラスの教員より

近所の下学年の児童と遊ぶことが多いと聞いている。集会の時などふざけるので注意をするが、担任以外の言うことは聞かない。担任のいないところで、ふざけたり、順番を抜かしたり、他の児童にちょっかいをかけては、嫌がられている。

今の意見をもとに、指導の方針を立て、みんなで検討してみましょう。

一番最初に大切なのは、担任の児童への思いや望ましい児童の姿を文章表現しておくことです。指導の方針を立てて、他の教師の意見を聞きましょう。

【今年度の指導の方針】

- ・自分の思いや要求ははっきりと表現できるが、～がしたい、～が欲しいではなく、自分で～ができる、～をするという主体的で責任のある表現を増やす援助をしていく。
- ・我慢をすることが苦手なので、順番を待つとき、人の話を聞くときなど、我慢できたときはほめ、我慢できず大きな声をあげたり、暴れるときは無視して、好ましい行動を引き出す。
- ・集中時間が短く、嫌になると立ち歩きがあるので、時間の見通しをもてるようなスケジュールの提示をし、視覚的な掲示や教材の工夫をしながら、徐々に集中時間を延ばす。

など...

次に具体的に目標を決めましょう。ここで大切なのは、1年間でどれだけできたらよいと考えるか。評価の項目も合わせて考えて置くと、伸びがよく分かります。また、児童と一緒に目標を立て、評価させることも有効です。また保護者の意見も取り入れましょう。

【今年度の目標】

我慢できる場面を増やす。

・怒らずに我慢できた日は、「怒らずにがんばったマークシート」に印を自分で付ける。印の数が評価になる。

スケジュールを見ながら、行動できる。

・先生の作ったスケジュールメモを見て、時間前に移動できていたら、「一人でがんばったマークシート」に自分でシールを貼る。

やりたくない課題にも少しずつ取り組める。

・集中時間が伸びたら、「我慢してがんばったマークシート」に花丸をもらう。

「がんばったマークシート」はどんな形式でも名前でも結構です。視覚的、具体的に評価の観点が分かり、その本人ががんばったことが見えるものであることが大切です。

次に、他の先生方にも意見をもらいながら、教科での共通した目標を立てましょう。あまり細かく立てないで、今の学年で習得しておいた方がよいところを重点的に話し合っ、できるものを3つくらいまでに絞っておきましょう。

【授業におけるねらい】

- ・国語 文字が乱雑になりがちなので、落ち着いてゆっくり書ける。
- (書写) 文字の読み誤りを減らす。
登場人物の気持ちになって文章表現したり、簡単な感想文が書ける。
- ・算数 文章題をよく読んで、立式できるようになる。
足し算、引き算の計算の繰り上がり、繰り下がりをするのを忘れない。
単位の大きさが理解できるようになる。
- ・社会 地図を見てイメージができる。
地図記号が覚えられる。
自分の住んでいる地域への興味をもつ。
- ・理科 動物や植物の細かいところまで観察できるようになる。
観察したことや気づいた点について、できるだけ多く表現できる。
実験やグループでのワークに意欲的に参加する。
- ・音楽 リコーダーの練習に意欲的に取り組むことができる。
声の大きさに気をつけて歌う。
- ・図工 丁寧に色を塗る。
工作で工夫することができる。
- ・集会 ルールを考えて活動する。
周囲の児童の様子をよく見て、行動する。
- ・行事 意欲的に参加する。
ふざけすぎたり、テンションがあがりすぎないようにする。

など...

次に下のシートに書き込んで、実態や課題を整理してみましょう。

さん実態表

本年度の目標			
実 態		課 題 支 援	
行 動 面			
生 活 面			
学 習 面			